

ご意見と事務局の考え

意見6（平成17年6月受付）

（栃尾市出身）

（1）投稿している6/28現在、中越地区に大雨洪水警報が発令されていますが昨年7月の水害を思い出します。新長岡市は長岡方式の分権を提唱していますが災害など緊急時の対応が合併の評価にも繋がってしまいます。特に山間部で携帯電話も通じず道路も1本しかない地域は栃尾や既に合併した地域にもあると思います。旧越路町は防災無線を整備する計画があったそうですが新長岡市としての対策を伺いたいと思います。また河川の増水や孤立したときなど見附市など隣接市町村との協力・連携も必要となります。合併を断った市町村と緊急時に疎遠にならないよう努めてほしいと思います。

（2）家内が小千谷市出身でローカル紙、小千谷新聞を購読していますが長岡市との合併はデメリットを強調しています。見附の新聞も同様だと思います。雑誌の記事のように一方からの見方に偏ってる面はあるものの誤った情報は書かれていません。ローカル紙は住民や世論への影響が大きいものですが40万都市を目指すのであれば長岡市のトップの方や合併協議会の方はこれらの市町村のローカル紙など目を通し当地域の住民の視点に立ってほしいと思います。中には長岡市一極集中になることを危惧する声もあります。新聞の宣伝をするわけでありませんが客観的に長岡市がどのように見られているか知るために是非目を通してほしいと思います。

事務局の考え

（1）合併後の新長岡市は、平成17年度に防災計画見直し作業を行い、新たな防災計画の中で対応しますので、ご懸念の点については御安心いただきたいと思います。

（2）御意見として承りました。

意見5（平成17年6月受付）

（小千谷在住）

栃尾市は住民投票で合併を決めたそうですが議会制民主主義に反しないのでしょうか？住民から選ばれた議員が全て責任を持つべきです。小千谷新聞を一度読んで下さい。同じ中山間地で自立した栃尾市に期待していたのに残念です。

事務局の考え

御意見が栃尾市に関する内容と思われるので、合併協議会事務局でお答えできません。

栃尾市合併推進室へお問い合わせください。

意見4（平成17年6月受付）

（長岡市在住）

小千谷市や見附市、川口町などで合併を見送った人の中には合併後の長岡市、特に

中之島北端や小国など周辺部への取組みに注目してると思います。また栃尾市が市として初めて合併します。合併によるデメリットの粗探しをする人もいますが中核市実現のために合併を見送った市町村が安心して合併できるよう長岡方式地域自治を継続的に続けるとともにメディアを通して周辺市町村へも震災や水害の被災者に気を配りつつPRしてほしいです。

事務局の考え

ご意見をいただき有り難うございました。

ご意見の内容に対する事務局の考え方は、当協議会ホームページの意見3及び質問2の回答と同様ですので、そちらをご覧ください。

森長岡市長は、平成15年1月に、小千谷市など長岡地域広域市町村圏の市町村長とお会いし、40万人都市構想の実現を呼びかけ、現在も長期的な視点でこの構想の実現を目指しております。40万人都市構想の実現に向けては、今回の6市町村での合併、そして来年1月に合併する4市町村との合併を成功させることが、周辺市町村への最大のPRであると考えております。

また、「長岡方式の地域自治」は、本格的な活動が始まったばかりです。今後とも、ホームページや各メディアを通じ、積極的にPRを行っていきたいと考えております。

意見3（平成17年5月受付）

（東京都（栃尾市出身））

小千谷市のローカル紙、小千谷新聞5月21日号に合併しない方針に利と社説が掲載されておりました。様々な考えがあると思いますが雪の少ない地域が合併する中、南の端の豪雪地帯が新市で重要な位置づけとされない可能性を指摘しています。また中長期的な目で見れば合併しない方が利ありと述べられています。何を根拠にしたものか分かり兼ねますが栃尾市なども豪雪地で東の端であるため不安を感じます。長岡市が小千谷市民へ直接情報を提供することは出来ないとい旧合併協議会のHPに記載されてますがマローカル紙など報道機関に対しては問題ないと思います。何を根拠にしたものか分かり兼ねますが栃尾市なども豪雪地で東の端であるため不安を感じます。小千谷新聞社などへも出向き情報交換してほしいと願います。

<別WEBからのリンク/小千谷新聞コピー>

http://kgy999.com/amezo_img/niiigata/1050905051426/1470705052119.jpg

事務局の考え

平成18年1月に新たに4市町村を迎えて誕生する新長岡市は、比較的積雪の少ない平野部がある一方で、暖冬の年でも3mを越える積雪を記録する山間部や、日本海を望む海岸部などがあり、多種多様な地域特性を抱えた全国的にも特色のある自治体になります。このように大きな地域差があることから、合併に対する不安感が出てくるものと思いますが、長岡地域の合併では、こうした地域差を認めたくえて、逆にその差をどのように新市のプラスのパワーとして活用していくのか、そこに合併後のまちづくりの成否がかかっているものと考えています。栃尾市の例で言えば、栃尾にし

かない特徴と長岡にしかない特徴をうまくかけ合わせる事ができれば、栃尾の持っている宝物のような地域資源が今以上に輝き出す可能性があります。そのことがひいては長岡地域の「共存共栄」につながるはずです。

また、合併後、周辺部が取り残されてしまうのではないかなどという意見がよく出ますが、これらの懸念については「長岡方式の地域自治」により地域委員会を設置するなどして解消していきますし、除雪体制は、地域の実情に応じた取組みが効果的であることから、合併後も現行どおり行うこととしていますので、心配はありません。

これらのことは、当ホームページをはじめ、広報紙などを通じ、あらゆる機会にお知らせしており、小千谷市など、今回の合併に参加していない周辺市町村にも資料を送付しています。なお、ご心配の点については、市町村間の正式な合併協議の中で整理すべきものであると考えます。

意見2（平成17年4月受付）

（さいたま市在住）

新長岡市も上越市と同じように区を導入してほしいと思います。新聞の報道などでも分かりやすいでしょう。長岡市の後に町内のみでは市外の方にも分かりにくいと思います（特に地震や積雪情報など）。既に合併した町村や旧長岡市も含め検討をお願いしたいと思います。県外からは長岡市より上越市の方が人口も都市規模も上だと思っている方も多いとでしょう

事務局の考え

上越市は、合併特例法に基づく地域自治区を設置しており、住居の表示に各地域自治区の名称を冠しています。

長岡市では、合併協議会の協議により、「長岡方式の地域自治」を構築しました。町名・字名の取り扱いについては、合併前にそれぞれの旧市町村単位で地域の意向等を踏まえ、重複町名が生じないように調整し、協議会で決定しました。

地震や積雪情報などをはじめとする住民への広報等につきましては、新市としての一体感に留意するとともに、地域の多様な個性を生かすため、今後、市内外の方でできるだけ分かりやすい表記を行うよう工夫していきたいと考えています。